



「まあとに当たるかな!？」

11月20日に弟子屈小学校で行われた「ましゅうランド・たのしいまといれゴー」での1コマ。町内の小学1・2年生がこの日のために準備し、町内の幼稚園・保育園の園児を招待。それぞれのコーナーで一生涯懸命おもてなしをしていました。

(関連記事27ページ)

Public relations magazine

2018.12 No.772

てしかが

主な内容

- 弟子屈町表彰式……………2
- 12月は町税等完納強調月間です……………4
- えこまち通信……………7
- 行政評価「町民アンケート」結果……………8
- 放課後児童クラブが移転へ……………14
- 「むかしむか史」連載終了へ……………30

むかしむか史 (338)

てしかが歴史写真館²¹²



武四郎さんの著作は、町図書館でも借りられます。

遺したかったものを、さらに未来へ

—松浦武四郎メモリアルイヤー—

武四郎さんは生涯に6回、蝦夷地を訪れています。現在の弟子屈町域にも来た1858年が最後となりましたが、前半3回は一個人として、後半3回は江戸幕府に雇われた役人という立場です。

ほどなく明治維新を迎え、新政府から蝦夷地に替わる新名称を求められます。提出した6案のうち、採用された「北加伊道」(後に「北海道」と改字)とは、「アイヌの人たちは自分たちを“カイノ”と呼び合う」ことから付けたといわれます。提出日の7月17日(旧暦)は、昨年「北海道みんなの日」となりました。アイヌ語地名に基づいて上申した国名や郡名は、現在も振興局名などに使われています。「北海道の名付け親」とされる由縁です。

文字を持たなかったアイヌの人たちが暮らす地について、詳細に書かれた出版物は、窮状を訴える告発本でもありました。開拓判官という重要ポストに就きながらも持ち前の正義感は揺らぐず、翌年に早くも辞職。以後、北海道の地を踏むことはありませんでした。

心せよえみしもおなじ人にしてこの国民の数ならぬかは

2008年、武四郎さんの資料が国の重要文化財に指定されました。甚大な自然災害や戦禍を乗り越え、守り抜いて来たご子孫らのご苦勞があつてこそ。武四郎さんに劣らぬ熱意の継承が形となって今、私たちの目の前にあるのです。

アイヌの人たちと心身で交わり続けた武四郎さんの名が、町民の間でも語り継がれることを祈りつつ、1年に渡る連載を終えます。

てしかが郷土研究会 (斎藤)

※今月号で連載が終了します。郷土研究会からは30ページをご覧ください。

てしかが 2018.12

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696 〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

社会功勞 多年にわたり地域医療、教育行政、社会福祉事業に寄与し、功勞のあった方

医療法人社団 信診連
理事長 行木 紘一
 1993(平成5年)年4月から弟子屈クリニックを開業。25年にわたり内科医として町民の健康や医療維持と発展に尽力。1998(平成10)年には医療法人社団信診連を設立し、各種リハビリテーションや介護事業所などを運営し、本町のみならず北海道の地域医療、介護分野にも大きく貢献された。



小澤 重
 1997(平成9)年12月に町教育委員に任命され、2017(平成29)年12月まで5期20年在任。その内、12年あまりを教育委員長として、本町の教育行政推進に尽くされた。
 在任中は、弟子屈小・中学校の改築、図書システムの導入、更科源蔵文学資料館の開設など、学校教育から社会教育まで幅広い分野で大きく貢献された。



故中澤 廣
 1996(平成8)年から20年以上弟子屈町身体障害者福祉分会会長を務められたほか、釧路地区身体障害者福祉協会長、弟子屈町障害者等協議会会長、民生委員・児童委員、障害支援区分認定審査会委員、地域包括支援センター運営協議会構成員、地域密着型サービス運営委員会委員など、公職を歴任され、当町の福祉行政に大きく貢献された。



表彰式の様子

産業功勞 本町産業の発展に顕著な功勞のあった方

摩周メロン生産組合
組合長 藤田 重太郎
 1985(昭和60)年10月に前身団体である「摩周メロン研究会」を設立。農業収益の増加と一村一品を目指し、苦勞を重ねながらも、現在は生産者8戸、出荷数2万玉を有し、町を代表する農産物の一つになっている。



善行表彰 公益のため多額な私財を寄附した方

森内 重則
 現金1,000,000円をまちづくりのために役立ててほしいと寄附された。
 (2018(平成30)年4月13日受納)



東星渡部建設 株式会社
代表取締役 渡部 哲夫
 現金3,000,000円を会社合併10周年記念事業として寄附された。
 (2018(平成30)年4月27日受納)



桐木 ヨシ子
 現金1,000,000円を亡夫(桐木富治氏)が長年町にお世話になったお礼として寄附された。
 (2018(平成30)年5月24日受納)



在住功勞

現に50年以上本町に在住し、年齢77歳を超え、長年にわたり福祉向上や産業の振興に努められたとともに、地域発展のために貢献した方(50音順)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 青木 章三 | 有馬 泰三 | 一ノ戸 テミ | 稲辺 輝美 | 稲井 正藏 | 今井 美智子 | 岩谷 美智子 | 上西 高子 | 蝦名 美世子 | 大河原 一信 | 大友 康一 | 大畑 勇一 | 小野 利己 | 加川 己之助 | 葛西 静子 | 笠井 弘子 | 加藤 忠一 | 金子 都子 | 金子 ひで子 | 金子 ヨシ子 | | | | | | | | | |
| 鎌田 孝二 | 菅野 浩二 | 池野 公治 | 島弘 博 | 北村 光弘 | 木村 富博 | 倉田 文子 | 倉田 富子 | 黒坂 瑞子 | 小池 瑞子 | 小沼 房子 | 小塩 順子 | 小林 貞代 | 小畑 順子 | 坪井 敏子 | 徳永 敏子 | 本井 佐津子 | 土屋 静江 | 土屋 嘉代子 | 千葉 美枝子 | 丹羽 里子 | 館山 正芳 | 館岡 富美子 | 竹己 よし乃 | 高森 妙子 | 高畑 吉見 | 高田 とし子 | 高田 美幸 | |
| 藤本 京子 | 布坂 和子 | 船勝 雄子 | 幕田 静子 | 幕田 勝子 | 田田 静子 | 田田 勝子 | 田田 静子 | 増田 静子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 | 三浦 勝子 |

長年の功績に感謝 弟子屈町表彰式

町の発展と町民の皆さんの幸せのために、長年にわたりご尽力をいただいた方々の功績をたえ、平成30年度弟子屈町表彰式が11月3日、町社会老人福祉センターで開催されました。この表彰は、町の行政・経済・産業・文化などの各分野にわたって、町の振興と発展に寄与された方々に表彰状・記念品などを贈呈し、その功績をたたえるもので、今年で35回目。これまでに2千199人と15団体が受賞しています。今年度は、産業功勞を1団体、善行表彰を1法人と2人、社会功勞を3人、在住功勞を100人が受賞。式では、徳永町長から一人一人に表彰状が手渡されました。受賞者の皆さんを紹介します。(敬称略)



出席者全員で

屋根の雪下ろし費用を補助します

弟子屈町社会福祉協議会では、お住まいの家屋の屋根の雪下ろしが困難な高齢者の方などの世帯を対象に、雪下ろしを登録事業者へ委託した場合の費用の一部を補助します。

▶対象世帯

- 高齢者世帯／おおむね70歳以上の方のみで構成されている世帯(年齢は2018年4月1日現在の年齢とします)
- 障がいのある方の方のみの世帯／身体障害者手帳1級、2級、3級(肢体不自由)の世帯
- その他／その他、町社会福祉協議会が上記に準ずると認めた世帯

※雪下ろし費用の補助の対象となるのは、落雪などにより明らかに自己または近隣住宅などの損壊の恐れがある場合や、同じく通行者へ被害が及ぶ恐れがある場合に限られますので、ご注意ください。

▶対象経費／屋根の雪下ろしにかかる費用

▶補助額／かかった費用の2分の1の額で1回あたり1万円を上限

▶補助回数／年度内3回まで(平成31年3月31日まで)

▶対象となる事業者／町社会福祉協議会に登録された事業者

▶手続き方法

- ①雪下ろしが必要になった時点で、町社会福祉協議会へ交付申請書を提出します。
- ②申請書に基づき町社会福祉協議会で審査後、補助の可否を決定し、申請者へ連絡します。
- ③申請者の方は決定の連絡を受けた後、町社会福祉協議会に登録された事業者へ作業を依頼してください。
- ④雪下ろし完了後、速やかに実績報告書(作業前後の写真、支払った領収書の写し添付)を町社会福祉協議会へ提出してください。審査の上、決定者の方へ補助金を交付します。

□申し込み・問い合わせ先／弟子屈町社会福祉協議会 ☎ 4 8 2 - 1 0 5 4 (土・日曜日、祝日を除く)



除雪作業にご理解とご協力をお願いします

除雪作業の出動は、降雪量がおおむね10cm以上、または地吹雪、吹きだまりで交通に支障があると判断されたときに、主要幹線および通学路、集乳路線を優先的にいきます。

「吹雪、暴風雪警報発令中、および夜間」の除雪は、原則として行いません。



□路上駐車は除雪の障害

除雪作業で最も障害になるのが、路上での駐車です。路上に放置された車のために、除雪車が通れなかったり、除雪作業ができなかったりすることがあります。

□歩道などに物を置かない

歩道や路肩に、陳列品や旗立て用のコンクリート、木材などを置いておくと、吹きだまりの原因になったり、除雪の障害にもなったりします。あらかじめ、道路から離れた場所に移動させてください。

□除雪車には気をつけて

除雪車の運転技術者は、安全第一で細心の注意を払っていますが、作業稼働時は大変危険です。特に子どもの行動には目を配り、除雪車に近づけないようにしてください。

これから降雪シーズンを迎え、今年もまた厳しい冬に突入です。

町では、皆さんの生活や生産活動を支えるために除雪作業を行います。皆さんのご協力を得て除雪作業をスムーズに進めることが、経費抑制の上でも必要不可欠となってきますので、ご理解とご協力をお願いします。

町道除雪についての問い合わせ先／役場建設課 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 1 (課直通)
 国道除雪についての問い合わせ先／釧路開発建設部弟子屈道路事務所 ☎ 4 8 2 - 2 3 2 7
 道道除雪についての問い合わせ先／釧路建設管理部弟子屈出張所 ☎ 4 8 2 - 2 1 4 7

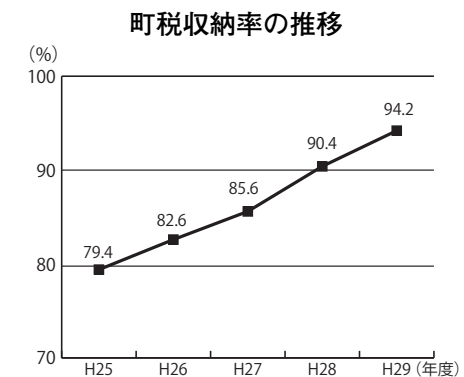
公平な行政サービスのために 滞納処分 さらに強化します

生活に身近な福祉や教育、道路整備などの行政サービスは、皆さんの納めた税金が支えています。町税の滞納は、町の財政を圧迫し、行政サービスに支障をきたすことにもなります。それだけでなく、納期限内に納めている大多数の町民の皆さんとの公平性を欠く、決して許されない行為です。

町では、滞納者の財産の差し押さえにより滞納している税金を強制的に徴収していきます。また、北海道や釧路・根室広域地方税滞納整理機構とも協力し、滞納を減らす取り組みを強化しています。

町税の収納率が上がっています

町民の皆さんの納税意識の高まりや厳しい滞納処分により、町税の収納率は年々向上しています。滞納者の数も少数となり、たとえ少額の滞納であっても目立ってしまいます。町では、預金調査や勤務先への給与調査などを行い、財産を差押え、さらなる町税の滞納縮小を目指しています。



借金返済後に納税してもいいの？

法律によって、税金はすべての債務(借金を含む)に優先すると定められています。このため、借金や住宅ローンよりも税金が優先されます。

勝手に財産調査を行ってもいいの？

税金を滞納すると、法律に基づき財産すべてに対する調査権が発生するため、勤務先への給与調査や銀行への預金調査を行います。この場合の財産調査は個人情報保護法には一切抵触しません。

予告もなしに財産を差し押さえるなんて…

税金は、納期限内に納付することが原則です。地方税法には「督促状を発送した日から起算して10日を経過した日までに完納しないときに差し押さえをしなければならない」と明記されています。

町では、督促後、催告書を送付したうえで差し押さえを行っています。それまでに納付または納税相談を必ず行ってください。

納付が困難な方は必ずご相談ください

やむを得ない事情により一時的に納付が困難な方や、まとめて納付ができない方には計画的な納付ができるよう相談も受け付けています。滞納を放置することはしないでください。

12月の町税などの納期限・夜間納税窓口

- 納期限は、12月25日(火)です。納め忘れに注意しましょう。
- ▶ 町・道民税 4期
 - ▶ 国民健康保険税 7期
 - ▶ 後期高齢者医療保険料 7期
 - ▶ 介護保険料 4期
- 日中、役場に来られない方はぜひ、ご利用ください。
- ▶ 開設日 / 12月26日(水)
 - ▶ 開設時間 / 午後8時まで
 - ▶ 開設場所 / 役場庁舎・川湯支所

問い合わせ先／役場税務課納税係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 4 (課直通)

12月は

町税等完納強調月間です

町税や保険料・水道料・住宅使用料などの各種使用料の納付はお済みですか？

てしかが観光塾を開催

てしかがえこまち推進協議会

観光を基軸としたまちづくりを進める、住民主体の協議会。

「誰もが自慢し、誰もが誇れるまち」がコンセプト。



北海道弟子屈から
観光の未来を拓く

「元気な会社のつくり方 元気な地域のつくり方」と題し、「地域らしさ」を大切にしながら観光を基軸としたまちづくりについて学ぶ平成30年度でしかが観光塾が11月9～11日の3日間、川湯ふるさと館で行われました。

同塾は、てしかがえこまち推進協議会が主催するセミナー。「観光を担う人材を育成する」ことを目的に毎年本町で開催されており、今年で11回目。道内のみならず、東京、長野、和歌山など全国各地からおおよそ60人の塾生が参加しました。

講師には、国土交通省認定観光カリスマで本町のまちづくりアドバイザーも務める山田桂一郎さんをはじめ、国内外で地域振興や人口成熟問題などに詳しく活動している㈱日本総合研究所 調査部 主席研究員の藻谷浩介さん、国内外から絶大な人気を誇る、数多くの旅館やホテルを営む(株)星野リゾートの代表 星野佳路さん

講演には、国土交通省認定観光カリスマで本町のまちづくりアドバイザーも務める山田桂一郎さんをはじめ、国内外で地域振興や人口成熟問題などに詳しく活動している㈱日本総合研究所 調査部 主席研究員の藻谷浩介さん、国内外から絶大な人気を誇る、数多くの旅館やホテルを営む(株)星野リゾートの代表 星野佳路さん

今年度は豪華な講師陣を迎え、基調講演や講座を実施。集まった塾生と、当日聴講に来られた町民の皆さんも熱心に耳を傾けていました。

星野さんによる基調講演「観光立国への道」では、(株)星野リゾートの創設から現在の成功に至るまでの軌跡をなぞりながら、成功のために行ってきた大きな選択や、生き残るために必要な要素、コンセプト作りのポイントなどを分かりやすく紹介。参加者の皆さんは興味深そうにメモをとりながら聞いていました。

また、聴講だけではなく、意見交流の場として1日目の夜には欣喜湯で参加者交流会を開催。町内の飲食店が地元の食材を使った料理を提供し、参加者は食事を楽しみながら交流を深めました。2日目には「弟子屈町の観光地 見て考える・聞いて考える」と題してフィールドワークを開催。摩周湖と道の駅へ足を運び見聞を深めました。3日目にはグループに分かれての意見交換を実施。ワールドカフェ形式の自由な会話を通し、参加者同士3日間の「気づき」や「発見」を共有しました。



多くの塾生が参加

問い合わせ先

てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係) ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

川湯地区でエゾシカの捕獲調査を行います

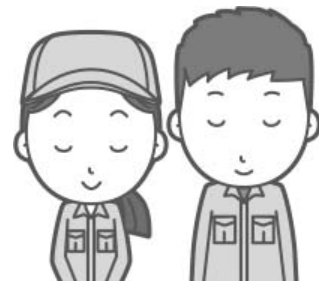


環境省では、国立公園内のエゾシカが植物に与える影響などを把握するために、阿寒摩周国立公園内で「エゾシカ捕獲対策検討業務」を実施しています。これに伴い、平成31年3月まで、左記の地図に示す地域で夜間ライトを使った生息状況調査や生態調査のため麻酔などを使用した捕獲を行います。

調査は、夕方や夜間に実施することもあり、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▶実施箇所/左の図のとおり

▶実施期間/平成31年3月まで



問い合わせ先/環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 ☎ 4 8 3 - 2 3 3 5

協力隊通信

吉田 祥子さん



日々の活動
発信中!

地域おこし協力隊facebook(フェイスブック)

<https://www.facebook.com/teshikagachiikiokoshi/>



大自然と歴史のアトサヌプリツアーへ出発!

魅力ある硫黄山を町の活性化の力ぎに

地域おこし協力隊の吉田祥子です。自然保全と観光振興の両立を目指すエコツーリズム活動の支援員として活動しています。

弟子屈町に移住して約半年が経ちました。秋の深まりとともに、木々は赤橙黄緑などさまざまな色で彩られ、屈斜路湖には白鳥がやって来たりと、これまで住んでいた地域とは異なった季節の移ろいと四季折々の風景に感動しながらとても楽しい毎日を送っています。

さて、まさにそんな紅葉ベストシーズンの10月21日に、てしかがえこまち推進協議会エコツーリズム推進部会で硫黄山のモニターツアーを開催しました。

先月号のえこまち通信でもお伝えしましたが、当部会では、現在は登山禁止の硫黄山の登山再開をめざしてエコツアーの開発に取り組んでいます。麓に広がるカラフルな青葉トンネルから希少な高山植物の間を通り抜ける、アトサヌプリ(裸の山)の名の通りむき出しになった岩肌から噴き出る硫黄ガス、そして大迫力の熊おとし!硫黄山にはたくさんの見どころがあります。今年も十数回ほどの調査登山を行いました。私が、そのほとんどに参加した私はずっと硫黄山の虜になってしまいました。少しの間、登らないだけで硫黄山ロスです。

川湯温泉の源でもある硫黄山は、かつて硫黄採掘の歴史より弟子屈町の発展の礎となった場所です。これからは弟子屈町をより活性化させる力ぎとなってくれるのではないかと心ひそかに思っています。登山再開の大前提となる安全対策も取り組みながら、今回ご参加いただいた方々の声を活かしてより魅力的なツアーとなるように頑張ります。引き続きご支援ご協力をよろしくお願い致します。

今年度は全道記録的な雪の遅さだそう、雪かき・雪道運転初心者としてはありがたいことですが、アウトドア好きなので早くスノーシューを履いてみたいなあとかワクワクしています。町中で見かけた際には、ぜひ「滑らないよ、うにね」とお声かけください!

ご利用ください 空き家バンク・人財バンク

町で実施している「空き家バンク」「人財バンク」を紹介しています。

11月14日現在「空き家バンク」で募集している空き家物件は9件(賃貸1件、売買8件)。今月は「登録番号39物件」を紹介します。

「人財バンク」に登録されているのは、個人登録8人、団体登録8団体。今月は、団体登録番号8「しらかば合唱会」を紹介します。

それぞれの詳しい内容は、町公式ウェブサイトに掲載されています。ご覧いただき、ぜひ、ご活用ください。

▶空き家バンクホームページ

<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/20akiya/bukken.html>

▶人財バンクホームページ

<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/35jinzai/index.html>

空き家バンク



人財バンク



▶場所/字奥春別375番31-53

▶建物/木造平屋建て

2LK

▶建築年/1991(平成3)年

▶価格/600万円



空き家バンク
登録番号 39

▶団体名/しらかば合唱会

▶分野/社会教育・まちづくり・学術・文化・芸術・スポーツ

▶PR/講師に吉口教子

先生を迎え、和気あいあいと楽しく歌っています。文化祭、文化賞授賞式セレモニー合唱など、さまざまな行事に参加。男女問わず仲間を募集していますので、ぜひ参加してください!



人財バンク
団体登録番号 8

問い合わせ先/ 空き家バンク/役場まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)
人財バンク/教育委員会社会教育課社会教育係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 8 (課直通)

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(8) 地域の特産品、お土産などの開発	43	42	+1	32
(9) 地場資源などの活用による企業の支援	40	41	-1	35
(10) 地場性の高い新作物や加工品の研究開発	42	41	+1	35
(11) 通年雇用型の企業の誘致	31	34	-3	28
(12) 若者が働ける職場づくり	24	27	-3	23
(13) 既存企業の育成・振興	36	37	-1	35
(14) 地元農産物の販売環境	41	41	0	35
(15) 地域密着型の安心できる商店の育成	30	34	-4	32
(16) 買い物にしやすい商店街の環境づくり	29	31	-2	29
(17) 町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進	38	37	+1	31
(18) 温泉保養やスポーツを活かした宿泊や滞在型観光の推進	27	30	-3	31
(19) カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進	45	44	+1	43
(20) サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり	28	28	0	31

産業活性化



水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち

行政評価結果

「町民アンケート」結果

町では「第5次弟子屈町総合計画」の進捗状況を評価する行政評価を実施しており、その成果指標とするために、毎年度「町民アンケート」を実施しています。今年5月に実施したアンケートの結果と、アンケート結果など踏まえて行われた「行政評価」の結果をお知らせします。

アンケートにご協力いただき、ご意見をお寄せいただいた皆さま、ありがとうございました。

実施内容

目的／広聴活動の一環および総合計画の達成度を測る指標の現状を調査する

対象／20歳以上の町民名簿から無作為に抽出した1000人

期間／5月25日発送、回答期限を6月8日に設定

回答率／32.2%

評価方法

アンケートのうち、行政評価・まちづくりに関する設問(問8、問16)について、それぞれの項目ごとに大変満足「5」、満足「4」、ふつう「3」、あまり満足でない「2」、満足でない「1」のいずれかに○印をつけてもらい、それを集計・点数化しました。

大変満足「100点」、満足「75点」、ふつう「50点」、あまり満足でない「25点」、満足でない「0点」として集計しています。

また、自由記載欄には自由に意見を書いていただき、159件の意見をいただきました。主な意見を掲載します。

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(21) 検(健)診など健康づくり事業の推進	54	56	-2	47
(22) 医療施設の診療科目など医療の充実	37	32	+5	28
(23) 医療費助成の充実	47	45	+2	40
(24) 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	48	48	0	42
(25) 高齢者のための健康・生きがいのづくり	50	49	+1	44
(26) 自立支援や在宅介護など障がい者(児)福祉制度の充実	46	46	0	45
(27) 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実	42	40	+2	36
(28) 母子・父子家庭福祉サービスの充実	45	46	-1	45

暮らし

町民の声
(自由記載から一部を掲載)

- 子どもたちが安心して遊べる公園や遊び場、屋内施設がほしい。
- 病院(小児科、耳鼻科、眼科)がないのがとても大変。
- 交通面がとても不安。
- 介護保険料が高額で、負担が大きい。
- 消防のサイレンや時間のチャイムが聞き取りにくい。



環境



町民の声
(自由記載から一部を掲載)

○道の駅のまわりの花などはきれいですが、ほかにも広がるといいですね。

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(1) 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護	58	58	0	51
(2) 自然環境と調和する町並み景観の整備	41	42	-1	37
(3) 緑化や花いっぱい運動などの推進	52	51	+1	48
(4) 自然開発におけるルールづくりの推進	46	46	0	42
(5) 省資源や省エネルギー化の推進	47	47	0	42
(6) ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進	59	59	0	54
(7) 新エネルギーなどCO2を削減する環境保全の推進と啓蒙	46	47	-1	45

回答結果

※町民アンケートのうち、行政評価・まちづくりに関する設問(問8、問16)の回答のみをお知らせします。

問8 弟子屈町の生活環境やまちづくり、町政についての満足度をお尋ねします。

問16 よりよいまちづくりに向けて、あなたのご意見を自由にお書きください。(自由記載)



松阪市の小学生との交流

人材

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(47) 人材育成の推進	40	40	0	38
(48) 弟子屈町のことを学ぶ機会の充実	43	44	-1	
(49) 団体やサークル、リーダーの育成	44	44	0	42
(50) 町民同士や団体同士の連携や協力	44	44	0	42
(51) 他地域へ誇る郷土愛を育む学習や町の魅力を高める活動参加機会の充実	44	44	0	
(52) 姉妹都市交流や他市町村・国際交流機会などの充実	49	47	+2	48

その他

町民の声(自由記載から一部を掲載)
 ○このようなアンケートをとってもどのくらい町行政の中で反映されてくるのか。
 ○前例がないから無理という言葉は嫌いです。若い人の意見を聞く耳を持ってやってみてダメならまた考える！
 ○町の敬老会年齢引き上げ。75歳とか。

町民の声
 (自由記載から一部を掲載)
 ○せっかく温泉があるのに活用されていない。
 ○家族・友人など遊びに来た時に宿泊する場や温泉施設がない。
 ○町商店街の活性化が必要。
 ○町内の接客・対応の悪さが問題！
 ○働く場所がもっと増えるといいと思う。
 ○若者の育成に力を注ぐべき。

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(29) 保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実	48	49	-1	46
(30) 子育てしやすいまちづくりの推進	45			
(31) 町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の共同推進	45			
(32) 下水道の整備	48	45	+3	49
(33) 観光のまちにふさわしい街並み景観の整備	32	33	-1	
(34) 公園、子どもの遊び場、散策路の整備	37	40	-3	42
(35) 安全な通行と輸送などのための道路整備	46	44	+2	48
(36) 住宅周辺や幹線道路の除雪や排雪	47	45	+2	47
(37) 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性の向上	38	37	+1	40
(38) 消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備	56	54	+2	51
(39) 学校施設の整備	55	0		



行政



設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(53) 町民主体のまちづくり活動への推進	45	44	+1	44
(54) 地域コミュニティ会館の整備	45	45	0	50
(55) バリアフリー化の推進	42	42	0	43
(56) 広報や町ホームページ、広聴の充実	54	53	+1	50
(57) インターネット、ラジオ、テレビなどの地域情報基盤の整備	46	46	0	44
(58) 行政サービスの向上と迅速化	45	47	-2	44
(59) 施策の考え方の公表(施策の説明責任)	45	45	0	43
(60) 財政の健全化	41	43	-2	40

町民の声
 (自由記載から一部を掲載)
 ○観光に力を入れるより、もっととんでいる人を大事にしてほしい。
 ○町民が協力してできることが何かほしい。千人踊り、町民運動会など楽しかった思い出があります。
 ○人口が半減しても住みよいまちづくりを。
 ○財政の健全化に対する取組みに真剣さを感じられない。
 ○行政職員の質が悪い。残念に思うことが多いです。

教育

町民の声
 (自由記載から一部を掲載)
 ○少子化で高校の存続が心配です。
 ○保護者の負担減が手厚くなる一方、学校予算が減っています。学校予算はこれ以上減らされると苦しいです。

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(40) 教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境	51	50	+1	46
(41) 幼児教育や機能の整備	49	50	-1	46
(42) 生涯学習機会の充実	50	49	+1	47
(43) 図書館や資料館などの施設や機能の充実	46	47	-1	45
(44) 芸術や文化に触れられる機会の整備	44	42	+2	44
(45) スポーツ環境の充実や施設の整備	40	44	-4	43
(46)アウトドアライフを楽しむための施設や機能の整備	42	0		



行政評価結果

町では「第5次弟子屈町総合計画」の目標年次である10年後にまちの将来像が達成できるよう、毎年度、行政活動を評価して改善に取り組み、取り組んでいます。

評価は全部で3階層によって行われ、1次評価が職員の評価、2次評価が町長、副町長、教育長の評価、3次評価が町民評価委員会の評価となっています。

今年度の各評価の内容は、1次評価では、前年度に行った事務事業とそれを束ねる施策の評価。2次評価では、施策の方向性に関する評価。3次評価では、評価結果を受けた改善点に関する評価を行いました。

2次評価・3次評価の結果をお知らせします。

2次評価(町長・副町長・教育長による評価)の結果(主なもの)

施策	改善点と今後検討すること
自然との調和	屈斜路湖の利活用と環境保全対策
雇用・新作業の創出	起業家への支援制度の検討
農業の振興	新規就農者を育てる農家への応援
観光の振興	えこまち推進協議会の在り方検討
子どもが安心して暮らせる環境づくり	来年度より弟小・川小で放課後児童クラブを開始
高等教育支援の充実	公設の学習塾の検討
健全な財政運営と財産管理	公共施設の在り方を見直し

3次評価(町民評価委員会による評価)の結果

※大きく4つの点について、今後の課題と在り方が話されました。

- 1 地域エネルギー対策とも関連するが、今回の停電にも対応できるような対策を考えていくこと。対応可能な在り方を模索、検討することが「地域力」を高めていくことに繋がる。
- 2 えこまち推進協議会の設立から10年経過を、「見直しを検討」との理事者評価であるが、同

協議会の活動は「種まき」であり、成果がすぐに現れないことも確かであるが、住民の意識醸成は確実に進み、この10年で大きく前進している。廃止となれば当町のエコツーリズムは大きく後退する。

3 弟子屈高校の魅力向上のために、具体的にどのような取り組みを実施するのか、弟子屈らしい特色ある高校へと、教育内容そのものを見直す必要あり。例えば観光学科の新設や、エコツーリズム推進と結び付けてアウトドアガイドの養成コースの新設など、弟子屈らしさを活かした観光教育が実現できるはず。

4 屈斜路湖の適正利用については現在の自主ルールでの運用では限界がある。動力船の発着場所が守られていなかったり、自粛エリアを航行して爆音を響かせていたり、利用マナーが守られていない現状である。エコツーリズムを推進する地域として、こういう動力船の利用はふさわしくなく、適正利用に向けての議論や利用者への呼びかけもしていると思うが、一向に改善の傾向も見られず、むしろ悪化しているように感じる。はつきりとした対応(全面規制)をすべき。



美しい屈斜路湖と利用者の安全のため



豊かな観光資源を未来へ

問い合わせ先/どちらも☎482-2913(課直通)まで
町民アンケートについては、役場まちづくり政策課広報統計係
行政評価については、役場まちづくり政策課政策調整係

中央2丁目4番1号
ESHIKAGA
図書館だより
☎(よいほんいろいろ)482-1616
toshokan@town.teshikaga.hokkaido.jp
開館日/火～金曜日 10時～18時
土・日曜日 10時～17時
休館日/月曜日・祝日・第4金曜日(祝日の場合はその前日)・年末年始・図書整理日

☆蔵書点検に伴う特別休館

蔵書点検のため次の日程で休館します。不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

移動図書館(図書館バス)は、13日(木)にBコースを巡回します。どうぞご利用ください。

▼休館日/12月11日(火)～12月16日(日)

※休館中もインターネットから予約の申し込みは可能ですが、取り置き準備は蔵書点検終了後となります。

☆年末年始休館のお知らせ

▼図書整理休館/12月30日(日)

▼年末年始休館/12月31日(月)～1月5日(土)

休館中、本の返却は図書館玄関横のブックポストをご利用ください。

▼今月の休館日/3日(月)・10日(月)・11日(火)・16日(日)(蔵書点検)・17日(月)・23日(日)(天皇誕生日)・24日(月)・30日(日)(図書整理日)・31日(月)

新刊案内

おすすめの新聞

キツネのボックス

サラ・ベニーバッカー/作



ピーターは助けた子ギツネをボックスと名付け、一緒に過ごしていくうちに、お互い離れがたい存在に。しかし、別れなければならなくなり…。もう一度会いたい一心でお互いを探しあう、少年とキツネの絆に涙します。

「色と性格の心理学」

ポーポー・ポロダクシオン/著
内田 樹/著

「食にまつわる55の不都合な真実」

金丸 弘美/著
小島 喜和/著

「マーケットでまちを変える」

鈴木 美央/著
山田 五郎/著

「へんな西洋絵画」

吉本 ばなな/著
クリス・コルファー/著

「ザ・ランド・オブ・ストロリーズ」

森田 真生/著
うえだ しげこ/作・絵

たくさんのお待ちはお待ちしています！

移動図書館(図書館バス)

Aコース 運行日/12月6日(木)・20日(木)
1月10日(木)・24日(木)

停車場所	停車時間
摩周丘幼稚園	9:00～10:00
弟子屈小学校	10:10～10:40
和琴小学校	12:40～13:00
屈斜路コタン	13:10～13:25
川湯支所	13:45～14:05
わんぱくクラブ・川湯農村センター	14:10～14:30
川湯温泉駅前	14:40～15:00
すずらんこども館	15:30～16:00

Bコース 運行日/12月13日(木)・27日(木)
1月17日(木)・31日(木)

停車場所	停車時間
摩周丘幼稚園	9:00～10:00
美留和小学校	10:20～10:50
川湯保育園	11:10～11:30
川湯小学校	12:30～13:00
川湯支所	13:10～13:30
奥春別小学校	14:25～14:55
みはらし台こども館	15:30～16:00

☆年末特別企画☆

☆図書館福袋 本の福袋貸出しキャンペーン

昨年末、こっそり開催したこの企画、好評をいただいたので今年も開催します！図書館職員がテーマごとに選んだ3冊を福袋に入れて貸出します。どんな本が入っているかは、借りてみてからの楽しみ！(一般10セット、ヤングアダルト(中高生向け)・児童・絵本各5セット用意しています。期間内でもなくなり次第終了となりますので、気になる方はお早めにご来館ください！※お一人さま1袋に限りです。予約はできません。※1袋で1冊の貸出しになります。※貸出図書ですので、読み終わったらご返却ください。期間/12月18日(火)～12月29日(土)までご利用ください！！

ボランティア活動

○布絵本そよかせ活動日
6日(木)・20日(木)

○図書館ボランティア活動日
7日(金)

おはなしはらっぱ

テーマ『神々の物語』

☆1日/おはなしはらっぱスペシャルだよ！
※13時～14時にクリスマス飾りを作ります♪

☆8日/『きれいなほこ』『へんてこへんてこ』『チピヤクカムイ』

☆22日/『ねないこだれだ』『はんぶんたぬき』『イソボカムイ』

※15日、29日はお休みします

時間/午後1時～ 場所/町図書館

平成31年 4月 放課後児童クラブが移転へ

町内の4つの放課後児童クラブが弟子屈小学校・川湯小学校の余裕教室を活用し移転オープンします
 小学校から帰宅しても家族が仕事で家には誰もいない
 そんな子どもたちのために日常の生活や遊びの場を提供する放課後児童クラブ
 移転後の放課後児童クラブがどのような施設なのか、同クラブで子どもたちがどのように過ごしているのか
 支援員はどのような思いで子どもたちに接し、見守っているのかを紹介し

放課後児童クラブの現状

現在、町内の放課後児童クラブは、3カ所のこども館と川湯青少年会館の計4つの施設で運営し、140人の児童が利用しています。保護者の皆さんの就労状況が変化していることから、利用者は増加が続いています。

町では子どもたちの安全・安心を一番に考え、保護者が安心して預けられるよう、地域の小学校施設を活用したクラブ運営ができません。

児童クラブの学校施設活用について、保護者の皆さんへのアンケート調査では、約70%が「ぜひ活用すべき」「活用すべき」、約20%が「どちらでも良い」と回答されました。

各児童クラブは小学校から離れた施設で運営しているため、放課後に移動する際の交通事故や、冬期間は薄暗い時間帯に移動しなければならぬなど、さまざまな危険性が懸念されていました。また、各施設はいずれも老朽化しています。

各小学校では、少子化の進行による児童数の減少から、特別教室などの有効活用を検討してきましたが、弟子屈小学校に3クラス、川湯小学校に1クラスの児童クラブ専用室を設置可能と判断し移転が決まったものです。

それぞれの教室を児童クラブ専用室とするための改修工事を主に冬休み期間に行ない、年度末に移転する予定です。

放課後児童クラブの1日

○平日・放課後18時
 放課後からクラブの生活がスタートします。平日は時間が短いのですが、子どもたちはさまざまな遊びや工作などに時間を有効に使って活動しています。その後、保護者の皆さんのお迎えを待ちます。

○土曜日、学校休業日、長期休業期間…8時から18時
 朝からクラブの生活がスタートします。入室後、宿題をしたり、遊んだり、おやつを食べたりします。

放課後児童クラブ支援員から

私たちは、子どもたちの健全な遊びと生活を育成支援し安心して過ごせるような生活の場や環境を整え安全面に配慮し子ども達が楽しく過ごせるよう見守っています。



支援員は子どもたち一人ひとりを見守り、向き合う事で信頼関係を築いています。また、子ども間のトラブルなどについては、じっくりと話をすることで、お互いを理解し解決に向かわせています。時にはそれぞれの学校の担任教諭などとも情報共有し、保護者の方のご協力をいただきながら、愛情を持って良い方向を見出しています。

児童クラブ利用申込案内

- ▶ 申込期間 / 平成31年1月17日(木)から1月31日(木)
- ▶ 対象児童 / 保護者が就労などで留守になる小学生
- ▶ 必要書類 / ①放課後児童クラブ入会申請書 ②児童クラブ個人調書 ③保護者が保育できないことを証する書類(勤務証明書、求職活動等申告書)
- ▶ 書類の配布先 / 各クラブや通園先の幼稚園、保育園を通じて配布します。はじめて利用を希望される方は、下記申し込み先までお問い合わせください。
- ▶ 休業日 / 日曜・祝日・年末年始(12月31～1月5日)・荒天などによる学校の臨時休業日
- ▶ 負担金 / 傷害保険料 年額800円程度
 ※保護者会ではおやつ代の負担をお願いしています。金額は、保護者会で決定します。
- ▶ 放課後児童クラブ支援員 / 支援員は各クラスに4人配置されます。
- ▶ クラス分け / 弟子屈小学校には1つのクラブで3つのクラス、川湯小学校には1つのクラスが設置されます。クラスは各学年が混在する縦割り編成となります。
- ▶ その他 / ・児童クラブ登録児童の保護者は原則、保護者会へ加入していただきます。
 ・児童のお迎えについては必ず保護者をお願いします。
 ・土曜日、学校休業日、長期休業期間には、昼食のお弁当が必要になります。
- 申し込み・問い合わせ / 各放課後児童クラブもしくは役場健康こども課こども支援係 ☎482-2935 まで。
 ※入会申請書などは町公式ウェブサイトからもダウンロードできます。
 ※保護者説明会を予定しています。日程については、あらためてお知らせします。

むし歯のなかったお子さん



おくやま ひびき ちゃん
奥山 響貴 ちゃん



よし だ ち はる ちゃん
吉田 知遥 ちゃん



こにし さき ちゃん
小西 咲妃 ちゃん



すずき あやめ ちゃん
鈴木 あやめ ちゃん



すずき さくら ちゃん
鈴木 さくら ちゃん

ののけいセンターの準備

泉ふれあいセンターで9月26日、「泉地区SOSネットワーク学習会」を開催しました。

これは、高齢者が道を間違えて家に帰れなくなったり、自分がどこにいるかわからなくなってしまう場合、地域ぐるみですみやかに発見・保護し、その後の生活を見守っていく「弟子屈町SOSネットワーク」をよく知り、認知症について理解を深め、発見・保護する具体的な対処方法について学ぶもの

です。当町で初の開催となる泉地区では、自治会の皆さんを中心に、34人が参加しました。

講義の前半は「認知症サポーター養成講座」として、認知症とその対応について理解を深め、後半は実際に迷ったような高齢者を見かけた時にどんな対応ができるか、グループワークを中心に意見を出し合いながら学習しました。

弟子屈警察署生活安全係長田村警部補にも来場頂き、実際に高齢者を保護した時の通報のやりとりや、どんな時に警察に連絡したら良いかなどわかりやすく説明してもらいました。

また、行方不明者の身辺情報をまとめた「行方不明者を早期発見するため

に有力な情報一覧」を、自治会や近親者が、役場を通じて検索に当たれる警察・消防に提供することで、より早期の発見をめざす連携体制についても確認しました。

参加者からのアンケートでは「地域での声掛けは良くやっています。泉地区は高齢者が多いため、学習会に出席して認知症の方への接し方が今まで以上に良くわかりました」「これから私もありがちなです。気をつけて自分を、そして他人も同じく守っていくつもりです。今日はありがとうございました」

「見守りの地域づくりについてどう考えますか」と言う問いに、「とても必要」と答えた人は89%にのぼり、支え合い・見守り合いの地域づくりへの意識の高まりを感じました。

この学習会は、これから各地域で展開していく予定です。ご要望のある自治会にはぜひご連絡ください。

□ 申し込み・問い合わせ先 / 役場福祉課 地域包括支援係 ☎482-2921 (課直通) まで。

平成30年度 家族介護者教室を開催

「あれ何だっけ?物忘れのあれこれ」～地域医療の実践～

年齢を重ねると「物忘れ」や「認知症」が気になってきませんか。川湯で地域に根付いた診療をしている武井医師を講師に迎え、物忘れのあれこれについて伺います。

気になる方は、ぜひ、ご参加ください。

- ▶ 日時 / 12月8日(土) 10時30分～正午
- ▶ 場所 / 町公民館 講堂
- ▶ 申し込み / 不要
- ▶ 参加料 / 無料

□ 問い合わせ先 / 役場福祉課地域包括支援係 ☎482-2921 (課直通)



いつも聞こえるみんなの声

タウンメール

町のみんなのコミュニケーション

あなたの町政に対する

意見・要望・質問やさまざまな情報をお寄せください

まちづくり政策課広報統計係では、皆さんの声を広く町政に反映させる広聴活動として「タウンメール」を実施しています。

この「タウンメール」は、町民の皆さんの町政に対するご意見・ご要望・ご質問などを記入していただき、最寄りの郵便ポストへ投函していただくというものです。

地域づくりや町づくりなどに関する意見・要望のほか、行政への疑問や情報提供など、あなたが知りたいことや知らせたいことも大歓迎です。お気軽にあなたの声をお聞かせください。皆さんの声が明日の弟子屈町をつくれます。

寄せられた声に対するの回答は広報紙への掲載、または、ご本人へ直接通知します。回答につきましては封書を投函していただいた時期により、翌々月の広報紙に掲載となる場合もあるほか、内容によっては回答し兼ねる場合もありますのでご了承ください。

また、匿名の方に対するの回答は、いたしかねます。

記入の仕方

- * 町づくりなどに関するご意見・ご要望のほか、行政への疑問や情報提供などのあなたが知りたいことや知らせたいことも、ご自由にお書きください。
- * 誹謗(ひぼう)中傷や営利を目的とした内容はご遠慮願います。
- * 封書は点線にそって切り、折ってノリ付けし、切手を貼らずにそのままポストへご投函ください。
- * この封書の差出有効期限は平成31年3月31日です。それまでにご投函ください。
- * 内容によってはこちらから内容確認を行うことや、直接回答を行う場合がありますので、住所・氏名・性別・年齢・電話番号は必ず記入してください。なお、広報紙に掲載する場合、氏名は公表しません。

◆お問い合わせ先/役場まちづくり政策課広報統計係 ☎ 482-2913 (課直通)

あなたの声をお気軽に寄せてください

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

いつも聞こえるみんなの声 **タウンメール**

ご住所					
お名前					
電話番号					
年齢			性別	男	女

冬休み 楽しく過ごすためのしおり

冬休み期間
 弟子屈小・中学校 / 12月26日(水)～1月16日(水)
 奥春別・美留和・和琴・川湯小学校・川湯中学校 / 12月26日(水)～1月17日(木)
 弟子屈高校 / 12月22日(土)～1月13日(日)

命を大切にしよう 生活のリズムを守ろう
 非行を起こさないようにしよう 事故には十分に注意しよう

町民の皆さんへ

間もなく子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。長期の休みでは、子どもが家庭や地域で過ごす時間が多くなります。普段経験できないことに取り組めるよい機会にもなります。町内で子どもたちを見かける機会が多くなると思いますので、町民の皆さんには、見守りの輪を広げ、時には声をかけていただけるとありがたく存じます。地域の子どものために関心を持っていただき、ご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

一方、ネットトラブルなどが大きな社会問題になっており、どこに住んでいても犯罪に巻き込まれる危険性があります。各家庭におかれましては、スマートフォンやゲーム機器などの使用にかかわる、家庭のルールづくりやフィルタリングの設定などを通して、子どもたちを守っていただければと思います。

弟子屈町生徒指導連絡協議会・町教育委員会

- ▶ 外出するときには、帰宅時間や行き先を保護者に必ず伝えましょう。
- ▶ 学校で禁止されている場所(ゲームセンターやカラオケボックスなど)には出入りをしないようにしましょう。
- ▶ 軒下や雪山、河川や湖の立ち入り禁止区域など、危険な場所には行かないようにしましょう。
- ▶ 帰宅時間を守りましょう。(小学校・中学校・高校で異なります)
- ▶ 小中学生のみでの外泊は禁止です。
- ▶ 学習にも計画的に取り組み、苦手な範囲を復習しましょう。
- ▶ インターネットを通じたトラブルには十分気をつけましょう。

町・弟子屈防犯協会・川湯防犯協会・弟子屈町少年補導委員会
 弟子屈警察署 ☎ 482-2110 川湯駐在所 ☎ 483-2151

弟子屈小学校 ☎ 482-2044 川湯小学校 ☎ 483-2041 和琴小学校 ☎ 484-2061
 美留和小学校 ☎ 482-1097 奥春別小学校 ☎ 482-4819 弟子屈中学校 ☎ 482-2071
 川湯中学校 ☎ 483-2337 弟子屈高校 ☎ 482-2237

町内あべのお母さん、お父さん、お子さんへ

「弟子屈町子育て情報リンク集」を公開しています

町公式ウェブサイトにて「弟子屈町子育て情報リンク集」が公開されています。

お母さんの妊娠前から、お子さまが独立するまで、家族をサポートする事業・支援・医療情報をまとめたリンク集です。「妊娠中の不安を相談したり、共有できる場はないかな?」「小学生に必要な予防接種は?」「子どもが高校を卒業して進学するけれど、何か助成を受けられるのかな?」など、子育て関連の情報の検索時に、ぜひご活用ください。

▶ リンク集URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/01news/2017-09-25.html>

☐ お問い合わせ先/役場まちづくり政策課広報統計係 ☎ 482-2913 (課直通)



料金受取人私郵便
郵便中央局
承認
8075

差出有効期間
平成31年3月
31日まで
(切手不要)

0883292

弟子屈町役場

おたのしみ政策課 広報統計係 行

生徒指導連絡協議会便り

12月1日
No. 11

ネット社会と上手につきあっていくために

スマートフォンなどネットにつながる情報端末機器の子どもの普及率が年々増加し、ネットトラブルやネット依存が社会問題となっている中、昨年度、本協議会で、本町の小学校四年生から中学校三年生を対象に情報端末機器(携帯電話・スマートフォン・ゲーム機など)の利用に関するアンケートを実施しました。

結果、ネットにつながる情報端末機器の所有率が高めで、ネットを活用している時間が長めなことがわかってきました。情報端末機器所有の低年齢化やさらなる弟子屈町の児童・生徒の実態を明らかにするため、今年度は小学一年生から高校三年生まで対象を広げて調査することにしました。すると、小学校低学年でも家族が所持している情報端末を使用する子どもを含めると7割以上、高校生にいたっては、ほぼ100%が個人の端末を保有している現状でした。使用内容は、小学生の場合は主にゲームや好きな時に動画がみられ、YouTubeを好む傾向にあり、中学生、高校生と年齢が上がるにつれLINEやTwitterなどインターネットを介して他人とつながるSNSを利用する割合が増えることが見えてきました。さらに一日二時間以上利用している小・中学生は学年差があり一〜四割

ですが、高校生になると一気に八割まで増加します。つまり、子どもたちは娯楽や友達とつながるために、情報端末機器にはまっていくと言えそうです。情報端末機器の普及が進み、ネットの利用率が高まり、持つていくことが当たり前になりつつある今日、学校はいかにネット社会と上手につきあっていくか、情報モラル教育の充実を図ることが急務です。ただ、端末を利用している時間の多くは家庭に戻ってからです。家庭教育の役割も大変重要です。

11月18日、生徒指導連絡協議会も協賛団体として参加しながら、弟子屈町PTA連合会研究大会が開催され「脳トレ」で有名な川島隆太氏に「生活習慣と子どもの心身の発達」脳科学から見るネット社会の影響についてご講演いただきました。インターネット習慣が子どもたちの脳に与える影響などについて、多くの皆様にお話を聞いていただくことができ、子どもたちを守るために私たちが保護者・地域の皆様も思いを一つにすることができたのではないかと自賛しているところでもあります。今後、子どもたちの健全育成のために、弟子屈町生徒指導連絡協議会の活動推進に深いご理解と温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

弟子屈町生徒指導連絡協議会
副会長 小原 正寿(奥春別小学校校長)

町内団体の取り組みを紹介 ～美留和小学校～

全校児童による自主的な活動としては、花壇やプランターによる美化活動を楽しんでいます。高学年が学校花壇のアイデアを練り、児童全員で配置を考えながら、グラウンド横の花壇に色とりどりの花を植えています。

郵便局や地元のお店にもプランターの花を設置しています。これも全て児童全員で相談し、児童の手で準備し、リヤカーに載せて運んでいきます。

体力向上の取り組みとしては、全児童による児童会活動の中で、朝のゲーム集会や外遊び集会などの企

美留和小学校は全校児童が10人に満たない小さな学校ですが、少人数であることのメリットを生かしながら、全校児童による自主的な活動や体力作りに取り組んでいます。

美留和小学校では児童が進んで体を動かすことで体力の向上を図りたいと考えており、教職員による新しい遊びの紹介も積極的に行っています。ミニテニスなどで、高学年が低学年を上手に遊ばせながら全校で楽しむ姿なども休み時間には見られます。

明るくたくましい児童の成長を願い、これからもさまざまな取り組みを工夫したいと思っています。



学校の花壇にきれいな花を

協議会から

今年も、本格的な冬を感じる季節となりました。本協議会の理念である「町民が一体となって、児童・生徒の健全育成に関わっていく」のもと、今後も関係各団体からの情報発信や、町民の皆様への情報提供の場にしていきたいと考えております。また、町内で、子どもたちの様子がお気づきのことなどがございましたら是非お知らせくださいますようお願い致します。

各部門で日頃の成果を披露
—第69回弟子屈町総合文化祭—

第69回弟子屈町総合文化祭が開催されました。文化祭は3部門に分かれて行われ、10月4日から8日にかけて展示部門が町公民館で開催。25の団体と個人の参加者が手芸や陶芸、短歌など日頃の文化活動の成果を発表され訪れた方々を楽しませました。茶道部門および芸能発表は10月28日に摩周観光文化センターで開催し、茶道部門は表千家三翠会さんによりロビーで実施。135人が参加しました。芸能発表会は22団体から延べ342人が参加し吹奏楽や舞踊、パトロンなど練習を重ねてきた成果を披露。会場から大きな拍手が送られました。



I&Mパトロンスタジオの演技



川湯ダンスクラブの演技

おいしいコーヒーをほっと一息
町公民館で11月1日、「美味しいコーヒーの作り方講座」が公民館で開催され、13人が参加しました。講師の喫茶あい店主山本邦幸さんの指導の下、実演を通しておいしくコーヒーを淹れるポイントなどを指導していただきました。自分たちで淹れたコーヒーを味わいながらホッと一息。その他にも紅茶やココアの作り方も学びました。



山本さんのわかりやすい講義も好評

クリスマスは手作り
川湯ふるさと館で11月20日、川湯駅前のカフェ「森のホール」店主の武山まき子さんと、田中志保さんを講師に迎え、クリスマス料理に挑戦しました。町民の方16人が参加。2人の手つきを見ながら、コツなどを聞き真剣に料理に励みました。参加者からは「ぜひクリスマスは手作りです」などの声から参加者から聞かれました。



クリスマス料理が完成

「生きがい講座」で学んでいます

弟子屈学級では11月13日「健康について学ぼう」をテーマに身近に福祉用具を広める会(若林努会長)の皆さんの指導により、「知って安心・使って便利」いろいろあります福祉用具」について学びました。人の手を借りずに自助具を使うように活に広がりを持つようになり、また介護用具のおかげで介護の負担を軽くできるなど、福祉用具についてのお話を若林会長が紹介していただきました。



用具についてお話を若林会長

各地域でニュースポーツ

町教育委員会・弟子屈町スポーツ推進委員協議会主催の地域巡回スポーツ教室が、町内各地域でおこなわれました。参加者は、スポーツ推進委員の指導の下、ニュースポーツに挑戦。3世代スポーツを通して世代間の交流を図り、普段親しむことの少ないミニテニスやキンボールを楽しんでいました。



キンボールを楽しむ参加者の皆さん

弟子屈クッシーズ大活躍

バレーボール少年団の弟子屈クッシーズが11月3日から4日北見市で開催された第38回道新カップ北海道小学生バレーボール道東大会に出場し、準優勝に輝きました。今後は、1月12日江別市で開催される第35回小学生バレーボール選抜優勝大会に出場します。



大活躍の選手たち

スケート教室開催

主催/町教育委員会
日時/平成31年1月12日(土)・13日(日)の2日間、いずれも10時～11時50分
場所/町スピードスケート場
講師/守屋結香さん ほか
対象/年長～小学校6年生
参加料/無料
申し込み締め切り/12月28日(金)



昨年のスケート教室

スケート場情報

町営スピードスケート場は、12月26日(木)オープンを予定しています。気象状況により、オープン日変更になることがありますので、ご利用前にお知らせ、お問い合わせください。営業時間は、次のとおりです。
▼冬休み期間/9時～17時
▼通常/9時～20時30分

スノーシュー・歩くスキー貸し出します
町教育委員会では、スノーシューと歩くスキー用具の貸し出しを行っております。利用される方は、事前にお問い合わせください。



どうぞご利用ください

みんなの活躍を紹介
■全道大会結果(敬称略)
▼第40回北海道高等学校秋季テニス大会兼第41回全国選抜高校テニス大会北海道地区大会(10月9日から10月11日)▽女子団体戦1回戦敗退▽佐藤穂香 坂田莉奈(以上弟子屈高校2年)女子ダブルス2回戦敗退
▼第34回北海道高等学校新人陸上競技大会(9月19日から帯広市)▽阿部優輝(弟子屈高校2年)円盤投予選敗退▽山家裕樹(同2年)走高跳予選敗退

スポーツで交流深める
■第7回弟子屈町民ミニテニス大会
摩周ふれあいスポーツクラブ主催の第7回弟子屈町民ミニテニス大会が10月7日、摩周観光文化センターで開催されました。大会には、釧路根室・帯広管内から55人が参加。熱戦を繰り広げました。
■弟子屈町民卓球大会兼第21回会長杯争奪クラブ対抗親睦大会
長杯争奪クラブ対抗親睦大会
弟子屈町卓球協会(木暮敏男会長)主催、摩周ふれあいスポーツクラブ共催の平成30年度町民卓球大会兼第21回会長杯争奪クラブ対抗親睦大会が11月18日、摩周観光文化センターで開催され、釧路、根室管内から14チーム70人が参加しました。

歩くスキーコース情報
桜丘歩くスキーコースは今年度750m、3km、6kmの3コースを雪が降り次第、整備します。



公民館ロビー展

10月23日から30日まで9月に実施された摩周焼陶芸講座、摩周焼窯元・森雅子さんの指導の下、制作したお皿や器など53点が公民館ロビーで展示されました。丁寧な作られた実用的で多彩な作品に訪れた人も見入っていました。



たくさんの力作が

今月の「うたごえ公民館」

皆さんの知っている懐かしい曲を一緒に歌いませんか。
▼日時/12月6日(木) 10時～11時30分
▼場所/町公民館 2階講堂
▼講師/更科俊一郎さん
※申し込み不要です。当日は直接お越しください。
□問い合わせ先/町公民館 ☎482-2340まで。





みんなで頑張りました

おひさま発表会
摩周丘幼稚園お遊戯会



練習の成果を披露(摩周丘幼稚園)

園児は、2〜5歳児のクラスごとに歌や楽器演奏、踊り、劇などを披露。この日のために一生懸命練習してきた成果を、元気いっぱい舞台上で発表していました。カメラやビデオなどを手にして集まった保護者などからは、たくさんの拍手が送られました。

おひさま保育園(廣田勝彦園長)のおひさま発表会が10月23日、同園で行われました。0〜5歳児が各クラスのテーマに沿って取り組んだ成果を、それぞれお遊戯や劇などで披露。保護者にとっては、日頃の園生活が垣間見られる貴重な場となりました。11月4日には、摩周丘幼稚園(鈴木幸榮園長)のお遊戯会が、摩周観光文化センターで行われました。



元気に演技する園児たち(おひさま保育園)



参加者全員でAEDの講習



熱戦が繰り広げられたソフトバレーボール大会

主催者からは、火災が増える季節になることから、火の取り扱いに十分注意し、住宅用火災報知器の設置をするなど防火意識向上も呼びかけられました。

スポーツで防火意識を高める

第6回防火ソフトバレーボール大会
第13回火の用心パークゴルフ大会



晴天の中でナイスショット

秋の火災予防週間の一環として、住宅用火災報知器の普及などを目的に、釧路北部消防事務組合、弟子屈防火管理協議会、弟子屈婦人防火クラブ主催による行事が行われました。9月30日には、第6回防火ソフトバレーボール大会が弟子屈小学校体育館で開催され、6チーム34人が参加。試合の前には、AEDの取り扱いなどの救急講習を実施。その後行われたソフトバレーボールでは、白熱した試合が繰り広げられました。10月28日には、町奥春別パークゴルフ場で、第13回火の用心パークゴルフ大会が開催されました。秋の抜けるような青空の下、町民の方51人が参加し、パークゴルフを楽しんでいました。

町の話題



町の話題

被災地支援のため職員を派遣

北海道胆振東部地震による被災地を支援



第1陣として派遣される職員へ副町長から激励
佐々木主任、菅野係長、船坂主任(左から)

本庁舎内で、り災証明書発行や、むかわ町の職員と家屋調査を行うなどの支援を行いました。派遣職員の帰庁後には、今回の支援について、派遣された職員から報告も行われ、今後の災害などに備え、貴重な経験を職員間で共有しました。

9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震の被災地支援のため「北海道及び市町村相互の応援等に関する協定」に基づき、町の職員が派遣されました。このような災害で当町の職員が派遣されるのははじめてのことです。第一陣として、10月5日から9日に、防災・建設 水道の分野からあわせて3人の職員が派遣され、被災地であるむかわ町穂別総合支所などで、り災証明書の発行や、家屋被害認定二次調査の受け付けなどの支援にあたりました。第二陣として、11月11日から17日までに2人の職員が派遣されました。

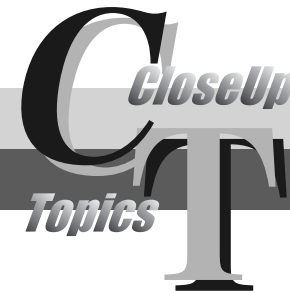


派遣職員による報告会



第2陣として派遣された
田中主事補と井主任(左から)

町の話題



町の話題

ワイン用ブドウを収穫

「葡萄酒の週末(エビイロウィークエンド)」を開催



丁寧に収穫をする徳永町長と川口摩周湖農協組合長(右)と和琴小学校の児童たち

10月12日には、ワイン醸造用のブドウの収穫が町内の協力農家などで一斉に行われました。町では2009年からワイン用ブドウを栽培しており、現在は町内で約2400本の苗を栽培しています。今年度は263キロを収穫。徳永町長や川口摩周湖農協組合長ら関係者約20人と、和琴小学校(齋藤超校長)の児童たち7人が一房ずつ丁寧に収穫しました。

10月12日には、ワイン醸造用のブドウの収穫が町内の協力農家などで一斉に行われました。町では2009年からワイン用ブドウを栽培しており、現在は町内で約2400本の苗を栽培しています。今年度は263キロを収穫。徳永町長や川口摩周湖農協組合長ら関係者約20人と、和琴小学校(齋藤超校長)の児童たち7人が一房ずつ丁寧に収穫しました。



地場産食材を使った料理とともに

本町産のワイン「葡萄酒の旦」を地場食材と味わう「葡萄酒の週末(エビイロウィークエンド)」が9月21日から10月8日、町内12の飲食店と宿泊施設で行われました。

10月13日

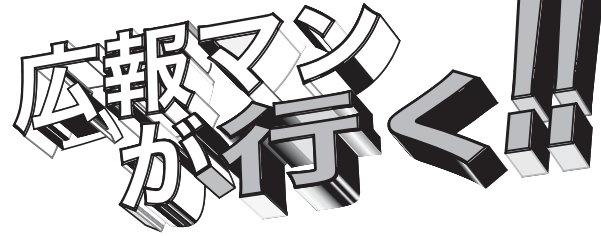
本を身近に感じてほしい ぬいぐるみおとまり会を開催



町図書館が主催するぬいぐるみおとまり会が10月13日、町図書館で行われました。

この会は、いつも子どもたちがかわいがっているぬいぐるみが図書館に泊まり、絵本を選ぶことで、本を身近に感じてもらうきっかけになればと始めて開催。子どもと保護者を合わせ14人が参加しました。当日は「絵本の会おはなしはらっぱ」による読み聞かせの後、図書館に泊まったぬいぐるみたちが、館内を探検しながら絵本を選びました。翌日、ぬいぐるみを迎えに来た子どもたちに絵本を貸出し、探検中の写真もプレゼントされ、たいへん喜んでいました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させていただきます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

10月18日

将来の運転者としての心構えを学ぶ 弟子屈高校で交通安全講習を開催



弟子屈高校(宮崎岡校長)で10月18日、秋の交通安全講習が行われました。

この講習は毎年、愛国自動車学校(釧路市)から講師が招かれ、近い将来に運転者となる高校3年生を対象に、交通事故防止について講演とさまざまな体験が行われています。特殊な眼鏡を装着して飲酒運転の疑似体験、動体視力の測定や見通しの悪い交差点での体験乗車など、歩行者としてだけでなく、運転者としての交通安全の大切さを学びました。

10月15日

日頃からの備えが大事 硫黄山噴火を想定した避難訓練実施 | 川湯小



防災ずきんを身につけ避難

川湯小学校(川島真澄校長)で10月15日、硫黄山の噴火を想定した避難訓練が行われました。

常時観測火山にもなっているアトサヌプリ(硫黄山)の近くにある同校では定期的避難訓練を行っています。今回は、硫黄山が噴火したと想定し、防災ずきんを身につけ、すみやかに体育館地下に避難。さらに町外への避難が必要になることも想定し、地下から教員が運転する自動車まで移動し、本番さながらの訓練が行われました。訓練終了後は、町総務課中村防災対策専門官から日頃の訓練が大事とお話がありました。

10月20日

登山道も冬支度 藻琴山登山道ロープ撤去作業



山頂直下でもロープを撤去

川湯エコミュージアムセンターを拠点に活動を行っている摩周・屈斜路パークボランティア(金井秀明会長)の皆さんが、10月20日に藻琴山登山道のロープ撤去を行いました。

ロープは危険個所の周知や、希少植物の保護のために例年6月頃に張られ、積雪前に撤去されます。この日はとても天気が良く、美しい景色を眺めながらの作業となり、2時間半ほどでロープを回収。ロープだけでなく杭などの点検も行われ、来年のロープ張り活動に向けても意見が出るなど、積極的に活動していました。

10月18日

歌や踊りで楽しい時間を 泉喜楽会が倅和園を慰問



「また来てね!」と大きな声援が

泉老人クラブ喜楽会(久保日出雄会長)の皆さんが、10月18日、倅和園を慰問しさまざまな演芸を披露しました。いつも運動会や盆踊りに参加し、泉地区を盛り上げてくれる倅和園の皆さんにお返しをしようと、初めて催されました。この日のために練習を重ねた舞踊やカラオケ、ドジョウすくい、スコップ三味線などが披露され、会場からは大きな拍手が。利用者を代表し森田さんが「時間を忘れて楽しませてもらった。ぜひまた来てほしい」とあいさつ。大盛況のうちに幕を閉じました。

除雪時の事故防止 外出の前に安全確認を



例年、屋根の雪下ろし作業中の転落や屋根からの落氷雪の下敷きになる事故が発生しているほか、暴風雪により尊い命を落とす被害も発生しています。このような事故を防ぐために、次のことに注意しましょう。

- 雪下ろしは必ず複数でしましょう。
- 除雪機を使うときは周囲の安全確認をしましょう。
- 気象情報に注意しましょう。



架空請求詐欺 が多発しています!

民事訴訟 最終通告書

訴訟番号 そ355
この度ご通知いたしましたのは、貴方の納付されていない消費料金について・・・
以上をもちまして最終通告とさせていただきます。

民事訴訟管理センター
電話番号〇〇〇〇
受付時間〇〇〇〇

このようなはがきが来たらずに警察に相談してください!

期日/12月19日(水) 場所/町公民館

自動車 運転免許の 更新時講習

- ▶優良講習 11時30分
 - ▶違反講習 9時
 - ▶一般講習 13時
 - ▶初回講習 14時30分
- ※講習は、警察署で運転免許更新の手続きを済ませた後に受講してください。

弟子屈警察署ホームページ <http://www.teshikaga-syo.police.pref.hokkaido.jp>

摩周一一〇番

弟子屈警察署
所在地交番
☎ 4 8 2 - 2 1 1 0
川湯駐在所
☎ 4 8 3 - 2 1 5 1

地域安全ニュース

平成30年12月発行 第255号
弟子屈地区防犯協会連合会
☎ 4 8 2 - 2 1 1 0 (弟子屈警察署内)

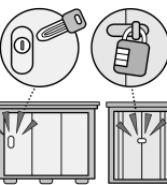


タイヤの盗難に注意!

道内の一般住宅敷地内から、タイヤが盗まれる事件が発生しています。自宅敷地内に保管していても油断はできません。犯人は目に付いたタイヤを狙って犯行におよびます。外部から容易に目に入る場所での保管は避け、施錠設備のある物置などに保管するか、屋外保管の場合でもチェーンでタイヤを連結するなどして盗難被害を防ぎましょう。保管場所には、防犯カメラやセンサーライトなどの防犯機器を設置すると防犯効果が高まります。

灯油の盗難に注意!

道内の一般住宅敷地内に設置された灯油タンクから、灯油が抜き取られる事案が発生しています。盗難被害を防ぐため、灯油タンクの給油口には鍵付きの盗難防止カバー、配管部には配管の破壊を防ぐカバーなどの防犯グッズを取り付けるのが効果的です。灯油が入ったポリタンクを保管する場合は、施錠設備のある物置などで保管し、タンクごと持ち去られることがないようにしましょう。



深夜の泥棒被害に注意!

道内で、夜間無人となる会社事務所や飲食店の出入口ドアのガラスを割られ、中にあった現金を盗まれるなどの事件が発生しています。盗難被害防止のため、長時間無人となる事務所や店舗内には、現金などの貴重品を置かないようにしましょう。また、防犯カメラやセンサーライトなどの防犯機器を設置して泥棒を近づかせない自主防犯対策も大切です。

11月12日
**美しい摩周湖を未来へ
 摩周湖環境保全連絡協議会設立総会を開催**



国に調査の再開要望を
 摩周湖の環境保全を目的とした湖水環境モニタリング調査の実施とエコツーリズムの推進や周辺地域の発展を目指す摩周湖環境保全連絡協議会が11月12日、徳永町長が発起人となり設立されました。これまで国立環境研究所が実施してきた湖水環境モニタリング調査が平成30年度を持って終了となることを受け設立に至ったもの。国が調査を再開するまでの間、本町と周辺地域が主体となり、関係機関と協力しながら継続することとなりました。協議会による第1回調査は平成31年度の8月下旬～9月中旬にかけて行われる予定です。

11月7日
**地域の役に立ちたい
 摩周植物園の皆さんが摩周温泉公園を整備**



スコップを使い丁寧な作業
 有限会社摩周植物園（古瀬廣幾代表取締役）の皆さんが地域社会貢献事業として11月7日、摩周温泉公園の駐車場で植樹鉢の雑草を抑制するため、ウッドチップによるマルチングを行いました。利用者に気持ちよく使用してほしいとの思いから行われ、4人が参加。この整備によって景観を保ち、利用者をより安全に迎えられるようになりました。

11月13日
**生と性から命の大切さを学ぶ
 平成30年度 小・中学校思春期講座**



胎児人形を抱いて重さを実感
 町教育委員会主催による平成30年度町立小・中学校思春期保健講座が11月13日、弟子屈小学校（中原英雄校長）と弟子屈中学校（佐藤敬喜校長）で行われました。同講座は、思春期から命の大切さを知り正しい性意識の理解を図ることを目的に実施されています。札幌相談専門助産院あさ 代表助産師よしゆうこさんが講師を務めました。児童生徒は性の種類が男女の別だけでなく50種類以上あることを学び驚いた様子。また助産師の仕事や出産の様子、ドップラーで心臓の音を聞く体験などを通して命の尊さを感じた様子でした。

11月12日
**卒業記念に特別な作品を
 弟子屈中学校で摩周焼きの体験実習を実施**



森さん（右）指導の下楽しく作業
 第18回摩周焼体験学習が11月12日、弟子屈中学校（佐藤敬喜校長）体育館で行われました。中学3年生の卒業記念作品の制作として毎年行われています。今年は弟子屈中学校の生徒52人が体験。初回から講師を務める摩周焼窯元の森雅子さんとスタッフの方々の指導の下、丁寧に作成しました。時にはスタッフの方に手伝ってもらったり、生徒同士で助け合ったりしながら、世界に一つだけの作品を作りあげました。作品は森さんの窯で焼き上げられ、後日生徒たちの手元に届けられます。作品は後日、町公民館で展示される予定です。

11月20日
**楽しいゲームでおもてなし
 ましゅうランド大賑わい**



さかなのおにこ
 町内の小学校の1、2年生が町内の保育園・幼稚園の年長児を招待し、おもてなしをする合同生活科「ましゅうランド」が11月20日、弟子屈小学校（中原英雄校長）体育館で行われました。生活科の授業の一環で、毎年行われています。児童はダンスや的あて、ボーリングなど10種類のお店を開店。招待された園児47人がお客さんとなりお店を回りました。ゲームの内容は児童が考えて準備し、接客にも挑戦。どのお店でも笑顔があふれ、大賑わいとなりました。

11月20日～29日
**高速道路の整備状況や役割に理解を深めてほしい
 道東自動車道パネル展を開催**



道東道の現在と未来について展示
 北海道横断自動車道釧路地区早期建設促進期成会（会長・蝦名大也釧路市長）主催の道東自動車道パネル展が、11月20日から29日にかけて町公民館ロビーで開催されました。道東自動車道の整備状況や役割をPRするとともに、利用を促進する目的で毎年開催されています。訪れた皆さんはパンフレットを手にとったり、興味深げにパネルに見入ったりしていました。

10月21日
**人が集まり 集う 町の玄関口
 南弟子屈でイベントを開催**



窯で焼く手作りピザは大人気
 南弟子屈の旧昭栄小学校で10月21日、南弟子屈地域活性化協議会（小澤重則会長）主催によるイベントが開催されました。イベントは南弟子屈在住者と同校の利用者を対象に開催され、お食事やフリーマーケット、協力隊の岡西さんによるパン・青木さんによるスイーツの販売、手作りの窯で焼くピザ作り体験や親子フラダンスのステージ発表など、盛りだくさんの内容。口コミでの参加者も増え、大人から子どもまで多くの来場者でにぎわいました。

10月26日
**老人クラブの皆さんが歌や踊りで交流
 第28回「演芸交流の集い」**



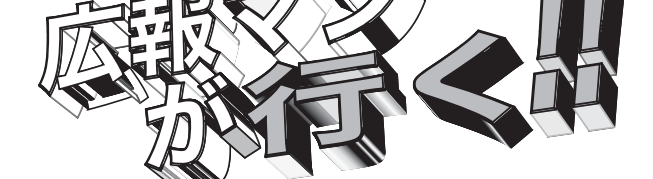
出演者による多彩な演芸
 町老人クラブ連合会（竹内勲会長）主催の第28回町老人福祉大会「演芸交流の集い」が10月26日、町社会老人福祉センターで行われました。高齢者の生きがいづくりと、同世代の仲間との支えあい、福祉の向上を図ることを目的に開催されています。15のクラブからおよそ220人が参加し踊りやカラオケなど多彩な演芸が披露されました。町の地域支えあい推進員（生活支援コーディネーター）の藤原直美さんによる講演「地域のつながりを深める 聞き上手入門」が行われ、支え合いの意識や知識を深めました。

11月4日
**これまでの歩みを振り返り
 泉自治会50周年祝賀会を開催**



昔を懐かしみ笑顔で歓談
 泉自治会（近江屋茂会長462戸）の設立50周年祝賀会が11月4日、泉ふれあいセンターで開催され、自治会員など65人が参加し、50年の節目をお祝いしました。泉自治会は昭和44年1月に会員数288戸で設立。最盛期の平成2年には567戸の会員数を数え、現在でも町内最大の自治会です。祝賀会ではこれまでの思い出話に花が咲き、あちらこちらで笑い声が起っていました。これからもより良い地域づくりと、隣近所の助け合い活動を進めて行くことなどを確認されていました。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

10月21日
**登山道再開を目指して
 硫黄山登山モニターツアーを実施**



ガイドの案内でツアーを実施
 てしかがえこまち推進協議会・エコツーリズム推進部会（藤原仁部会長）では10月21日、町民限定の硫黄山登山モニターツアーを実施しました。2000年に発生した落石事故以来入山禁止となっている硫黄山の登山道再開に向け、根釧西部森林管理署の特別な許可を得て実施したもので、町民の方や関係者約30人が参加。ガイドの案内の下、硫黄山レストハウスから通称「熊落とし」と呼ばれる火口などを周り、山から見える紅葉の景色を楽しみました。今後も登山道再開に向けて関係機関と調整を続ける予定です。

11月1日
**悲惨な事故を防ごう
 川湯で旗の波による街頭啓発**



交通安全を呼びかける参加者
 川湯交通安全指導員会主催による旗の波街頭啓発運動が川湯温泉駅前通りと国道391号が接する交差点周辺で11月1日に行われました。当日は弟子屈警察署や川湯自治会関係者なども含め20人が参加。該当道路付近は大型車両の通行も多く、日没時間が早まるこの時期は、特に注意が必要です。参加者は安全旗を手に、国道391号を往来する走行車両などのドライバーに交通安全意識の向上を訴え、交通事故防止の徹底を図りました。

12月 川湯屋内温水プールからのお知らせ

☎483-2072

- がんばれ水泳教室(25メートル泳げる成人)**
◇日時/⑤、7、⑫、14、⑰、21日
14時~14時45分
※〇は送迎バスあり(13時05分 公民館前発)
- 水中運動教室(一般成人)**
◇日時/⑥、⑬、⑳日
14時~14時45分
※〇は送迎バスあり(13時05分 公民館前発)
- 水中ジョギング教室(一般成人)**
◇日時/5、12、19日
10時30分~11時15分
- 幼児・小学生父母教室(幼児・小学生教室参加の保護者)**
◇日時/8、15、22日
10時30分~正午
- 小学生水泳教室(町内の小学生)**
◇日時/8、15、22日
10時30分~11時15分
- フリー教室(町内在住の方)**
◇日時/6、7、8、9、13、14、15、20、21、22、23、29日
- ※幼児・小学生の水泳教室は 木・金曜日 10時~正午
土・日曜日 13時~15時
定員となりまして。
- 選手コース(摩周スイミングスクール所属)**
◇日時/5、6、7、8、9、12、13、14、15、19、20、21、22、23、24、26、27、28、29日
15時~17時

※上記はあくまでも各教室のお知らせです。一般の方も、ぜひ、お気軽にプールをご利用ください。



- 利用料**
●小・中・高校生/無料
●一般/540円(税込み)
毎月第2・4土曜日は無料開放日!
- 休館日**
●今月の休館日(1、2、3、4、10、11、16、17、18、25、30、31日)
- 開館時間**
●10時~17時(水・木・金・土・日)

4月5日(金)のうち、11日間 ※コースにより異なります。

- ▼内容/ホームステイ、英語研修、文化交流、地域見学、野外活動などをコースにより選択
- ▼研修国/イギリス・オーストラリア・カナダ・サイパン・ニュージーランド・フィリピン・カンボジア
- ▼説明会/全国10都市で開催(予約不要・入場無料)
- ▼定員/10~20人
- ▼参加費/25万8千~49万8千円



資料請求・問い合わせ

寄附ありがとうございました

- 中西 英子 様(高栄2)
- ▼現金 10万円
- 亡夫(豊)が生前町にお世話になったお礼として、町のために役立ててほしい。
- 西端 敏夫 様(中央2)
- ▼現金 5万円
- 亡妻(アヤ)が生前町にお世話になったお礼として、町のために役立ててほしい。

- 石田 延子 様(中央3)
- ▼現金 1万円
- 亡夫(忠義)が生前町にお世話になったお礼として、まちづくりに役立ててほしい。
- 株北興商事 弟子屈支店
支店長 佐々木 忠昭 様
- ▼住居表示ステッカー 238枚
- 町内の住居表示整備の一環として使用してほしい。
- ふるさと納税 209件
- ▼現金 合計559万5千円

北海道電力からのお願い

この冬も引き続き「無理のない範囲での節電」に、ご協力をお願いします。

詳しくは、ほくでんホームページをご覧ください。

ほくでん節電 検索

エルタックス(ELTAX)で申告を

エルタックスとは、窓口に出かけず、北海道の法人道民税・法人事業税・地方法人特別税、市町村の法人市町村民税・個人住民税(給与所得報告書)、固定資産税(焼却資産)の申告・申請が、自宅やオフィスなどのパソコンから簡単に行えるものです。

ぜひ「エルタックス(ELTAX)」による電子申告をご利用ください。

URL: <http://www.eltax.jp/>

お問い合わせ先/札幌道税事務所 税務管理課 ☎011-204-5083 または、釧路総合振興局課税課事業税問係 ☎0154-9161 まで。

保健所での健康相談を行っています

釧路保健所では、保健師や精神科医師による心の健康相談(精神保健福祉相談)を行っています。

▼保健師による相談(電話・面接)

春休み海外研修交流 事業参加者募集

公益財団法人国際青少年研修会では、小学校3年生から高校生のための春休み海外研修交流事業を行います。海外生活を通して交流を体験し、国際感覚を養います。事前研修会では、仲間作りからサポートしますので、安心してご参加ください。

▼日時/平成31年3月24日(日)~

第770回全国自治宝くじ(年末ジャンボ)と
第771回全国自治宝くじ(年末ジャンボミニ)と
第772回全国自治宝くじ(年末ジャンボプチ1000万)の
収益金の一部は、大阪府北部地震・平成30年7月豪雨(西日本豪雨)・北海道胆振東部地震の被災地支援に役立てられます。

生活情報をみなさんにお知らせ!

Information

- 連絡先**
- 役 場 ☎482-2191
 - 川湯支所 ☎483-2043

文化センターガイド

12月 アリーナ一般開放日

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
区	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
分	○	○	休	休	休	休	○	○	休	休	休	休	休	休	休	○
日	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1
区	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
分	休	休	休	休	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休

◎=全面 ○=半面 休=休館日 (時間帯は18:00~21:00です)

※12月30日(日)~1月5日(土)は休館です。

11月8日現在の予定ですので、一般開放利用を希望する方は、文化センターにあらかじめお問い合わせください。

今月のバスケットゴール設置日は9日(日)です!

今月の主な行事予定

- 8日 釧路江南高校テニス部
- 9日 摩周杯ソフトバレーボール大会
- 26-27日 釧路市立青陵中学校テニス部

冬休み無料開放イベントを1月14日(明)に予定していますので、どうぞ楽しみに!

問い合わせ先
釧路圏摩周観光文化センター ☎482-1811

残薬(ざんやく)という言葉を知っていますか？

医療機関などで処方したお薬を飲み忘れなどでお家に飲み残したお薬を残薬(ざんやく)といいます。

このような残薬がある方は、薬剤師さんと相談して残ったお薬を使い新たに処方されたお薬と調整してもらえます。このように調整することでお薬代が安くなったり、また複数の医療機関などを受診している場合と同じような効能のお薬を処方しているケースがあり、飲み過ぎに注意することができますので各医療機関や薬局にご相談ください。また、1度に複数のお薬を飲む必要がある場合、飲む分をまとめて小分け(一包化)にすることもできます。まずはご相談ください。

▶相談できる町内の薬局/摩周調剤薬局 ☎482-8388 湯の島調剤薬局 ☎482-6060

▶必要なもの/被保険者証、お薬手帳、残ったお薬

□問い合わせ先/役場健康こども課保険年金係 ☎482-2935 (課直通)

(広告)

ペンションのお仕事を 手伝ってください！

[職種]	【お掃除係】	【食器洗浄係】
[勤務時間]	10:30~13:00<らい	18:20~21:00<らい
[募集人数]	3~4人	1~2人

※お子様連れでのお仕事もご相談ください。

-----以下は共通です。(両方できる方大歓迎です)-----

- [勤務日数] 閑散期 週0~1日/繁忙期 週1~5日
- [時給] 850円+交通費~
お仕事の習熟度に応じてUPします。
- [条件] 車で通勤できる方、やる気・責任感のある方。
お持ちの携帯電話等でメールをえる方。
(シフトをメールで連絡します)
- [応募] メールにて連絡をください。
早い者勝ちにならないように、少なくとも12月15日までは、必ず募集をします。
その後も、不足があれば募集を続けます。
履歴書をご用意ください。(写真は不要です)
- [その他] 詳細は面談にて



ペンション ぽらりす

☎(015) 482-2622 (担当 馬場)
札友内原野52線30番地3
<https://www.polaris-hokkaido.com/staff03@polaris-hokkaido.com>

北海道国民健康保険 団体連合会表彰を受賞

北海道国民健康保険団体連合会表彰が10月31日、札幌市中央区国保会館で行われ、国民健康保険運営協議会委員として長年国民健康保険事業の推進向上に著しい功績のあった、上枝榮二 委員が受賞されました。

□問い合わせ先/役場健康こども課健康保険係
☎482-2935 (課直通)

(広告)

2019年1月より、 画期的なカーリース 開始！

12月より
先行受付
開始！

今なら弟子屈町民
先着5名様限定
初期手数料を半額に
いたします

3ヶ月~
2年の
短期リース

1日あたり500円から借りられる ワンコインカーリース

大手の残価設定型リースとは異なります！

電話にて、ご予約下さい
0120-925-282

CAR ISS LINE アカウント QRコード

ワンコインCARリース
CAR ISS 摩周
＜株式会社TAO＞



昭和62年7月号の第1回むかしむか史の冒頭

今号から、弟子屈町をより知り理解するための特選記事をお届けいたします。

執筆されるのは、摩周観光文化センター資料室長の種市佐改さん。氏は多くの文庫資料を収集、調査を行っているほか、弟子屈町の歴史研究家としても著書も存在します。

今回の企画は、開港百年を迎えようとしている、わがふるさと弟子屈の歴史を、その資料に基づいて明らかにし、広く町民に知っていただくことにもなります。



弟子屈町 むかしむか史(Ⅰ) —弟子屈町の開基—

摩周観光文化センター種市佐改

伝え続けて31年 「むかしむか史 てしかが歴史写真館」 連載終了へ

種市さん、あなたから受け継いだバトンを仲間たちが懸命に繋いで31年。338回になりました。

広報誌からてしかがのむかしむか史を紹介するのはこれで終了しますが、むかしを知る事はとても大切です。あなたのまわりの先輩たちに進んで接し、てしかがのむかしむか史を聞き、学び、明日への糧にしてください。

～むかしむか史を知り、豊かな自然を見つめ直し、今を学び、明日を拓く～

細川春治さん(現在札幌在住)が弟子屈町と自然を愛する仲間たちと設立した「てしかが郷土研究会」。種市さんを顧問に迎え、広報誌の1ページを担当、てしかがのむかしを紹介。合わせて行動を共にしなければと先人たちが生きるために工夫して使ってきた生活道具が、便利な道具に追いやられて倉庫でほこりをかぶって眠ったまま放置されているのを見、放っておけず収集を開始。道具たちの生命を守るため「てしかがの蔵」に継ぎました。

てしかがの広報誌が、次号より私たちの町を担う若者の知恵を注入して新しくなります。継がれたバトンを手渡しする相手を決めずに置く事を残念に思いますが、しっかり受けてくれる人の出現を望みます。

「てしかがの蔵」の生きている道具たちが、明日を拓く皆さんの大きな力になってくれる事を信じています。

新しい広報誌に期待をこめて

てしかが郷土研究会 副会長 小川 充洋

町営住宅 入居者を募集します

役場では、次の期間で町営住宅入居者を募集します。入居者は、条件を備えている方から、困窮度などに応じて決定します。

- ▶受付期間/12月3日(月)~12月10日(月)(土・日・祝日は除く)
- ▶受付窓口/役場建設課管理係・川湯支所
- ▶入居時期/平成31年1月中旬予定
- ▶入居敷金/住宅料(月額)の3倍の額、単身者用住宅は60,000円(住宅料の2倍)の額

※入居要件、入居基準など、詳しくはお問い合わせください。
※入居しようとする方、同居しようとする親族などが暴力団員である場合は、入居が認められません。

□問い合わせ先/役場建設課管理係 ☎482-2941 (課直通)まで。

公募対象住宅一覧表						
団地名・構造	建設年度	規模	月額住宅料	月額共益費	戸数	備考
南弟子屈団地(簡易耐火平屋)	S53	3DK	10,000~14,900円	-	2	57.0㎡(4軒長屋)
緑団地(簡易耐火平屋)	S54	3DK	10,900~16,200円	-	1	59.1㎡(4軒長屋)
緑団地(簡易耐火平屋)	S55	3DK	12,700~18,100円	-	1	66.5㎡(4軒長屋)
緑団地(耐火中層・4階建)	H3	3DK	20,700~30,900円	2,030円	1	72.2㎡(3階)

注1 場合によっては募集内容を変更することがありますので、あらかじめご了承願います。

注2 各部屋の照明や給湯器、暖房器具などは、入居される方が必要に応じて用意することになりますので、あらかじめご了承願います。

Monthlyのこよみ

主な予定を掲載しています

日	月	火	水	木	金	土
記号の見方 健診～健診や子育て相談など 行政～行政相談、人権相談 開～保育園開放など 子～子育て支援センター開放など 税～税の納期など 備～イベント、その他						おはなしはらっぱ スペシャル(図書館・13:00～14:00)
2		ひなたぼっこ開放 「午前0～1歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～16:00) 母子手帳交付(役場・10:00～16:00) 人権相談(公民館・13:00～15:00)	ひなたぼっこ開放 「午前2～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30) 9・10カ月児相談 (福祉センター・10:00～)	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) ひなたぼっこ移動開放「0～3歳」(川湯ふるさと館・9:30～11:30)	ひなたぼっこ開放 「午前0～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30)	ひなたぼっこ開放 「午前0～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30)
9	10	健康相談(役場・10:00～16:00) 母子手帳交付(役場・10:00～16:00)	親子遊び「クリスマス飾り制作」(子育て支援センター・10:00～11:30) 【要事前申し込み】 午後開放なし	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) ひなたぼっこ移動開放「0～3歳」(川湯ふるさと館・9:30～11:30)	ひなたぼっこ開放 「午前0～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30)	ひなたぼっこ開放 「午前0～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30)
16	18	ひなたぼっこ開放 「午前0～1歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～16:00) 母子手帳交付(役場・10:00～16:00)	ひなたぼっこ開放 「午前2～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30)	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) 乳児・3歳児・4歳半児健診(福祉センター・9:00～) フッ素塗布(福祉センター・10:00～10:20)	ひなたぼっこ開放 「午前0～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30) 行政相談(公民館・13:00～15:00)	ひなたぼっこ開放 「午前0～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30)
23	24	天皇誕生日	振替休日	ひなたぼっこ開放 「午前2～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30) 町・道民税4期、国民健康保険税7期、後期高齢者医療保険料7期、介護保険料4期納期限	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) 夜間納税窓口開設(役場/川湯支所・20:00まで)	ひなたぼっこ開放 「午前0～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30)
30	31			ひなたぼっこ開放 「午前0～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30) 【役場仕事納め】	ひなたぼっこ開放 「午前0～3歳」 (子育て支援センター・9:30～11:30 14:00～16:30)	おはなしはらっぱ (図書館・13:00～13:30)

■問い合わせ先／健康こども課☎482-2935 環境生活課☎482-2934 税務課☎482-2914 おひさま保育園☎482-2444 子育て支援センター「ひなたぼっこ」☎482-5667

▼原稿を書いてくれる今日、ついに町内に雪が降りました。今年には道のどこにも記録的に初雪が遅いそうです。今年の雪の量はどのようになるのか、なんとなく不安にかられています。寒さや除雪の準備などをしてしっかりと、風邪をひかないように今年の冬も乗りきりたいと思います。(鶴田)

▼9月号の編集後記でご紹介した公民館のカブトムシとクワガタ。9月にフラワーマスター協会の皆さんと役場前花壇でみつけたクワガタが1匹、まだ元気に生きています。辺りはすっかり雪で覆われていますが、その様子に夏の余韻を感じつつ、迫りくる冬から現実逃避をする今日この頃です。(山本)

人のうごき

●人口計 7,280人 (男4,666人 女2,614人)

●世帯数 3,870世帯 (男2,112世帯 女1,758世帯)

お誕生おめでとうございます

中村 聖凛ちゃん女(直人湯の島1)
岡林 歩汰ちゃん男(拓二美里4)
中島 和都ちゃん女(悠太高栄4)
大内 優結ちゃん女(達史屈斜路)
鈴木 仁人ちゃん男(謙太美里5)
佐藤 咲ちゃん女(俊泉2)

お悔やみ申し上げます

落合 正さん(81歳湯の島1)
加藤ノブ子さん(89歳桜丘3)
佐藤 澄子さん(95歳摩周1)
西端 アヤさん(85歳中央2)
望月 章さん(93歳奥春別)
小野寺信一さん(52歳高栄1)

※お誕生、お悔やみは、10/1～10/31に弟子屈町に届け出をされた方のうち、掲載を希望された方のみ掲載しています。弟子屈町以外に届け出をされた方で掲載を希望される方は、役場環境生活課町民係までご連絡ください。

ひとつになつたよ

2018

かもしだ みのり 鴨志田 実乃里 ちゃん

歳末特別警戒を実施します！

師走を迎え、寒さも一段と増し、火災や事故が発生しやすい季節を迎えます。消防署・消防団では、災害の未然防止などを図るため、今年も右記の期間に消防車で町内の歳末特別警戒を実施します。

《歳末特別警戒日程》

- ▶期間/12月25日(火)～12月30日(日)
- ▶時間/20時～22時
- ▶区域/町内全域

冬本番！ストーブの周りは大丈夫ですか？

火気の使用が増えるこれからの季節、弟子屈消防署管轄においても過去にストーブが原因の火災が発生しています。

～ストーブ火災を予防するポイント～

- ①ストーブで洗濯物を乾かすのはやめましょう。
- ②ストーブの周りに、燃えやすい物やスプレー缶を置くのはやめましょう。
- ③部屋を離れるとき、寝るときは必ずストーブの火を消しましょう。
- ④ストーブの給油は必ず火を消してから行い、給油後はキャップをしっかりと閉めましょう。

火事と救急は119番

弟子屈消防署・川湯支署

☎482-2073 ☎483-2216
E-mail teshikaga.fire.119@bird.ocn.ne.jp
kawayufd@smile.ocn.ne.jp

11月7日までの出動件数
火災 6件
救急 459件
(川湯支署含む)